

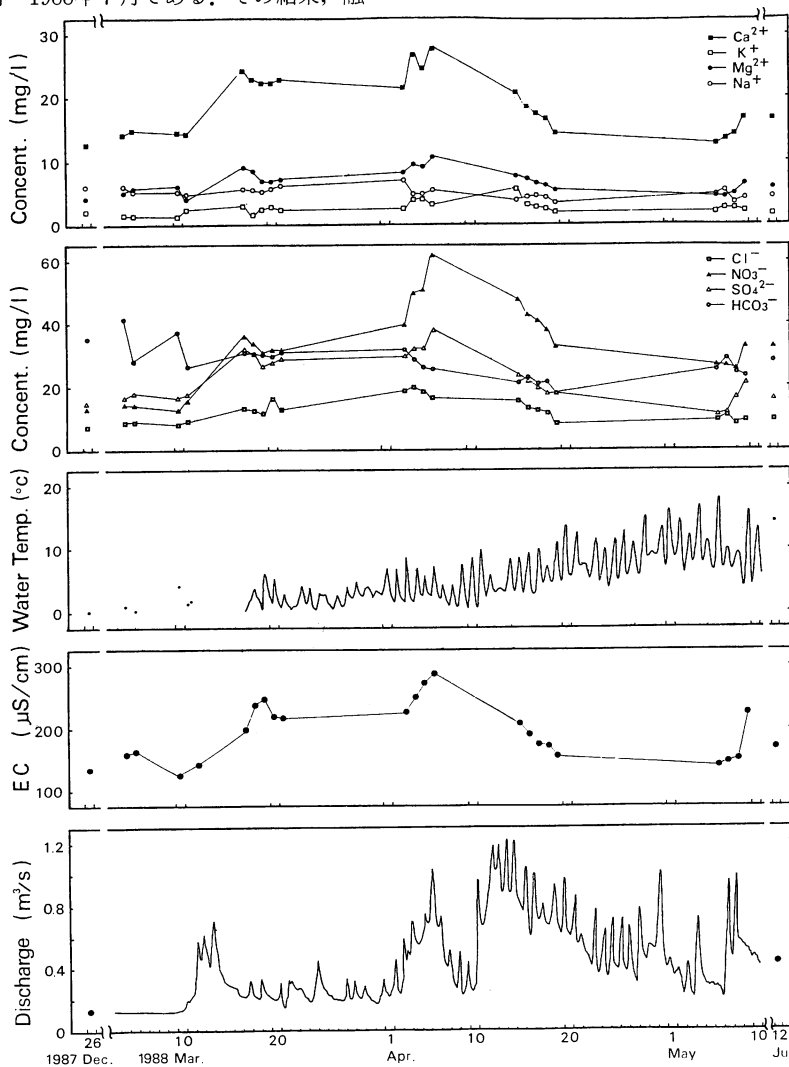
菅平高原における融雪期の流出特性と水質の変化

古藤田一雄 (筑波大学地球科学系)

柘植 敏朗 (筑波大学・院・環境科学研究科)

菅平高原において、融雪期の流出現象を明らかにすることを目的として調査・観測を行った。観測期間は1987年12月～1988年7月である。その結果、融

雪期の流出率が90%を超えること、融雪期に、特に硝酸態窒素の濃度が増加することが判明した。



第1図 融雪期における流出量，電気伝導度，水温，陽イオン・陰イオン濃度の変化